

指導方法等の改善計画について [理科]

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 55.2 %, 県 55.0 %)

対県比 100%

本年度の結果について

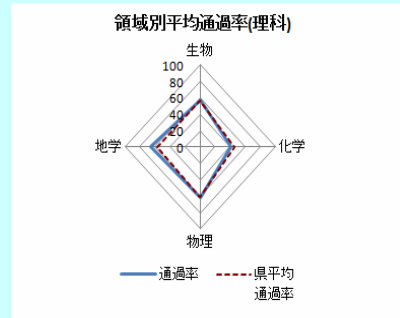
○理科の結果において、タイプⅠは58.3%、タイプⅡは50.6%の通過率となっている。この結果から基礎・基本の定着を図るとともに、科学的思考、技能の活用に力をつける必要がある。よい領域は地学分野で、化学分野に課題がある。
○昨年度の通過率が33.8%で、全領域に課題があった。そこで、くり返し学習や課題解決型の授業をできるだけ多く仕組んだ結果、通過率が55.2%になった。

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

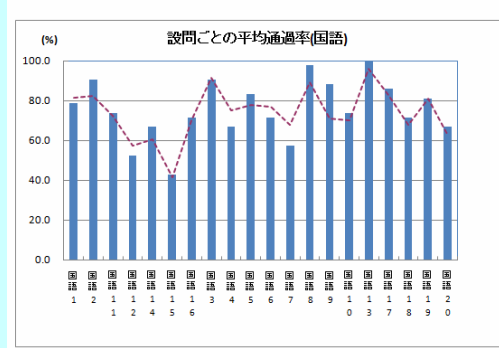
対全国比

105%

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



重点課題

【課題1】

水溶液を冷やしたときの再結晶について、溶解度と関連づけて答える問題に課題がある。溶解度、飽和水溶液のことばを使って理由を説明できない生徒が73.8%。無解答が11.9% (通過率14.3%)

【課題2】

グラフに表す2つの変数の意味を理解して答える問題に課題がある。横軸・縦軸に何をとりのか理解していない生徒が61.9% (通過率38.1%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

課題解決型の授業をできるだけ多く取り入れ、そのプロセスの中でいろいろな表現の方法を身につけさせ、主体的に考えられるようにしていく。また、それをグループやクラスに説明させたり発表させたりする場面を多くしていく。

【課題2】

単に知識をつめこむのではなく、日常生活と関連づけて考えさせたり、前時の復習、ねらい、展開、まとめ、ふりかえりの授業過程により、1時間の中でくり返したりすることにより、基礎的・基本的な知識を定着させていく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				2学期末テスト		H26「基礎・基本」定着状況調査 1・2年	
目標値				60%		70%	
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				2学期末テスト		H26「基礎・基本」定着状況調査 1・2年	
目標値				60%		70%	
実施後数値							